事例No.	2103
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	京都府南山城村

事例区分	DX

タグ	・観光 ・EBPM ・ICT

事例種類	観光

事例内容・タイトル

デジタル技術を活用した観光マーケティング

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

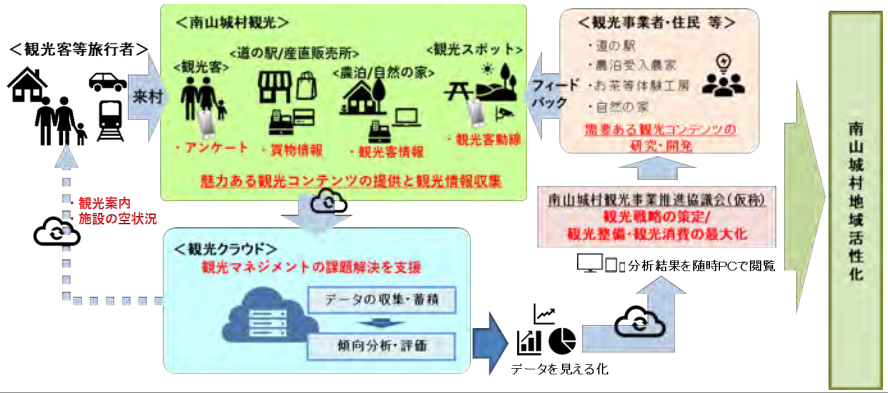
123 デジタル技術を活用した観光マーケティング【京都府南山城村】

事業の概要

○ 過疎化が進む南山城村では地域活性化を目標に、新たな観光事業の創出に取り組むこととし、その手段として令和元年度にIoT技術を活用した、観光関連データ収集の仕組みとデジタルPRツールを導入した。

○ 年間40万人以上の観光客が訪れる道の駅「お茶の京都みなみやましろ村」にセンサー機器を設置し、観光客の属性データの取得とデータ分析が可能になった。

○ 観光の起点となるJRの駅や道の駅等にデジタルサイネージを配置し、施設やイベントなど観光情報を配信している。



【参考情報①】 人口：0.2万人（※2,605人）
関連URL：https://www.soumu.go.jp/main_content/000614372.pdf
（「南山城村地域IoT実装計画～南山城村観光事業の創出・推進～」）

【参考情報②】情報通信技術利活用事業費補助金（総務省）とは
URL：
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu06_04000156.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）
生産年齢人口の減少による担い手不足や地域内消費額の低迷といった課題を抱える一方で、道の駅には多くの入込客がありました。課題解決のためには、この入込客を村内各所へと導き、地域内消費を生むことだと考え、デジタル技術を活用した入込客の観光マーケティングを実施し、需要のあるコンテンツの創出で観光事業の充実・拡大につなげていくこととしました。



（南山城村）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

平成30年度に総務省の地域IoT実装のための計画策定・推進体制構築支援事業を活用し、「南山城村地域IoT実装計画」を策定、具体的なIoT技術の導入について方針を定めました。この計画に基づき翌年度には総務省の情報通信技術利活用事業費補助金「地域IoT実装推進事業」を活用し、IoT機器の導入とデータ活用を行う運用体制の構築を実施しました。





事業の近況を教えてください。

令和3年度には、Web上でのデジタルクーポン付アンケート調査機能とその自動分析機能を追加実装し、コロナ禍における誘客手段としても活用しています。



★担当：南山城村産業観光課★

令和3年度事業費　3,724千円